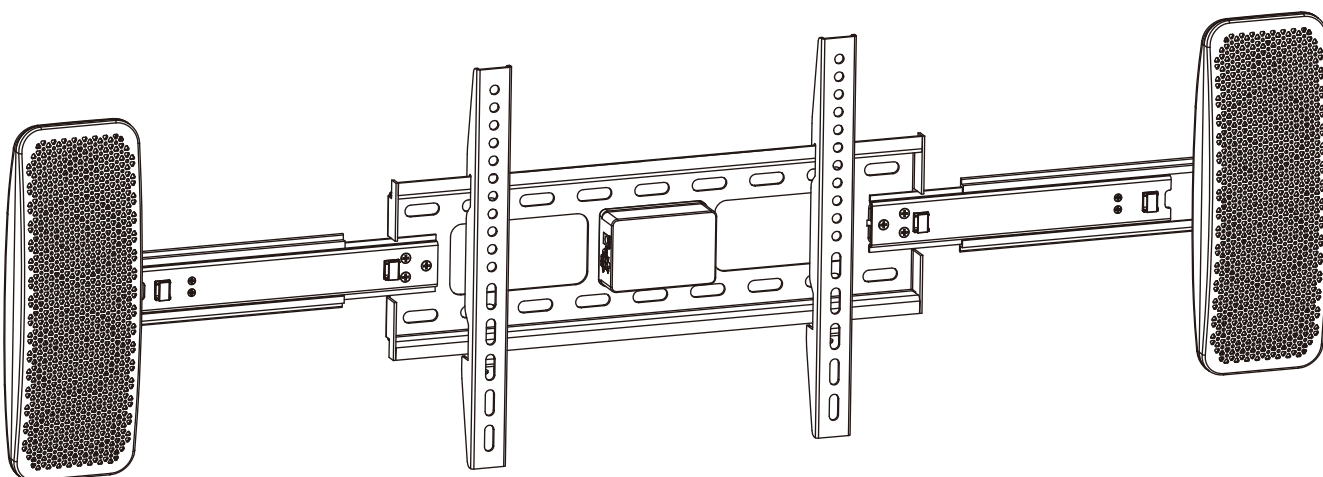


スピーカー付きテレビ壁掛け金具

使用及び取付け説明書

型番『SPK-TPS-2S』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。

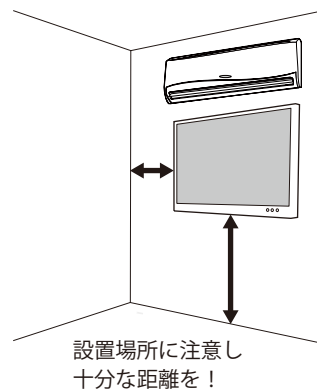


ご注意

- ・本商品は、日曜大工（DIY）が得意な方でしたら十分に確認を行ったうえで作業をすれば設置可能です。ただし、説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取り付け不良、取り付け強度不足、本来の目的以外の利用および、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
少しでも作業に不安があるようなら、決して無理に取り付けを行わずに設置業者へ依頼をしてください。
- ・取り付けを行う前に、テレビが今回お買い上げの金具に取り付けできるかを今一度確認してください。壁側の取り付け工事を行った後に、テレビの取り付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒、慎重にご確認ください。
- ・金具の種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。
基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。
- ・設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や、部屋及び家財にキズを付けることの無いようご注意ください。また、作業時は十部な作業スペースを確保してください。

⚠️ ご注意

- ✓ 誤った組み立て設置や取付け不良、取付け強度不足、本来の目的以外の利用や、天災などによる事故等については一切の責任を負えませんのでご了承ください。
- ✓ 個人で取付けを行う際は取付け場所等十分に注意し、自己責任の上で取付けを行ってください。不安のある場合は無理に取り付けを行わず専門業者へ依頼してください。
- ✓ 必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、テレビの落下や事故の原因になります。
- ✓ 取付ける壁面によって壁面の耐荷重が異なります。取付ける場所を確認し、取付けが困難な場合は中止してください。
- ✓ 次の場所には設置をしないでください。
 - ・石膏ボードのみの場所や砂壁土壁のような強度の足りない場所、天井
 - ・振動や衝撃が頻繁にあるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・ぐらつく、傾くなど不安定な場所
 - ・屋外や海岸、温泉に近い場所、湿度・温度の高い場所
 - ・動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
 - ・開閉するドアの近くなど、通常生活の行動に支障をきたす場所
- ✓ 設置後の再移動は行わないでください。一度開けた穴を再び使用する事はしないでください。
- ✓ 本商品ごとに定められた許容重量以下のディスプレイのみご使用ください。



取付け設置時に必要になる道具・工具は揃っていますか？

- ◆プラスドライバー（長さの異なるもの数種類あると便利です）
- ◆下穴用ドリル（電動ドライバーとしても使用出来るものならさらに作業がしやすくなります）
- ◆滑り止め付きの軍手（手を怪我しないようにする為や、誤って落とさないようにご注意ください）

【その他あると便利な道具・工具】

- ・厚手のタオルや柔らかい布（金具取付け時にテレビ画面のキズを防ぎます）
- ・メジャー（設置場所などを決める際や穴を開ける位置の寸法を決める場合に作業がしやすくなります）
- ・ペン、鉛筆など印を付けるもの

取付けを始める前にもう一度確認チェック！

- ✓ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか
- ✓ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いか
- ✓ テレビの適合をもう一度確認してください。
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。
- ✓ テレビ横幅が 1080mm 以下であるか（超えていると取付け出来ません）
- ✓ 取付けを予定している壁の状態を確認してください。
取付ける場所に間柱や補強は入っているか（石膏ボードのみの場所は不可）
コンクリートの場合は別途取付け業者を依頼してください。

！ 付属ネジに関して

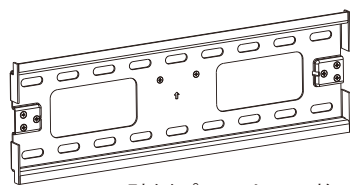
テレビ側のネジ類は、多くのテレビに取り付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのネジを付属しています。万が一付属のネジで長さが合わない場合は別途ホームセンター等で適切な長さのネジ類をご用意ください。

壁側のビスに関しても木造の柱や補強のある壁に取り付けを行う事を前提としています。別途コンクリート等にお取り付けを行う場合は設置業者とご相談の上適切なビスやボルトをご用意ください。

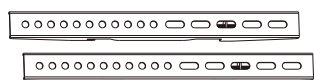
付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

テレビ壁掛け金具・スピーカー本体・スピーカー用部品



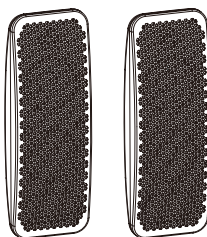
a. 壁側プレート…1枚



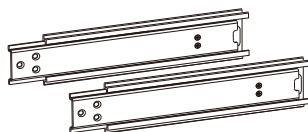
b. モニターブラケット…2本



c. スピーカーブラケット…2本



d. スピーカー本体…2台



e. スピーカーブラケット取付けアーム…2本



f. アンプ…1台



g. スピーカーケーブル…1本



h. オーディオケーブル…1本



i. 電源ケーブル (アンプ側)…1本



j. 電源ケーブル (コンセント側)…1本

テレビ・スピーカーを取り付ける際に使用するネジ類



M-A.
M5×14 ボルト…4本



M-G.
スペーサー (5mm)…8本



o.
M4 ワッシャー…4枚



M-B.
M6×14 ボルト…4本



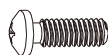
M-H.
スペーサー (20mm)…4本



p.
M5 ワッシャー…4枚



M-C.
M8×20 ボルト…4本



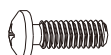
k.
M4×10 ボルト…4本



q.
M6 ワッシャー…4枚



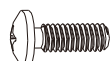
M-D.
M6×30 ボルト…4本



l.
M5×10 ボルト…4本



M-E.
M8×30 ボルト…4本



m.
M6×10 ボルト…4本



r.
ケーブル通し…6枚



M-F.
モニターブラケット用座金…4枚



n.
M5×6 ボルト…6本

※付属しているネジは多くのテレビに合う一般的な長さのネジを付属しています。
万が一付属のネジで合わない場合は別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

壁に設置する際に使用するネジ類



W-A.
ラグボルト…4本



W-B.
コンクリートアンカー…4本



W-C.
ワッシャー…4枚

※木造の柱・補強のある壁用のネジが付属しています。
壁の種類や状態によって合わない場合別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面がフラットの場合

※取付け前に、テレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください。

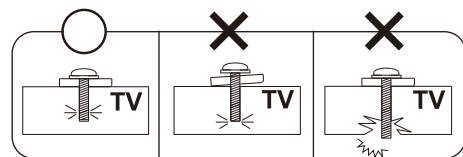
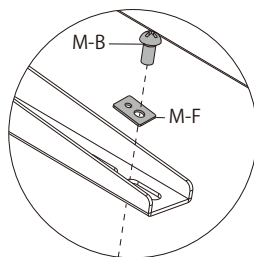
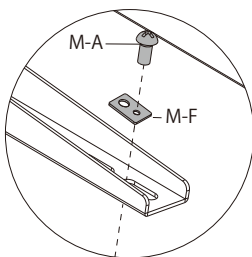
【テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合】

下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取付けネジ穴にモニターブラケット (b) をモニターブラケット用座金 (M-F)、ボルト (M-A,M-B,M-C) を使って取り付けます。
この時ワボルトは テレビの金具を取付けるネジ穴の大きさに合ったものを取り付けてください。

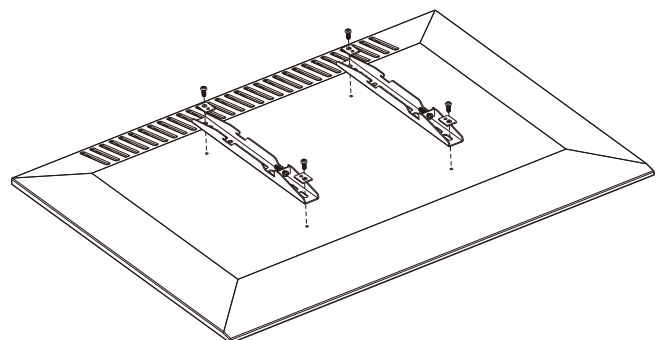
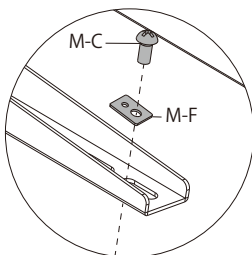
モニターブラケットは安全止めネジを付ける側が下になります。

また、2つのモニターブラケットが平行になる様に取り付けてください。左右とも取り付け穴の位置は同じにしてください。
モニターブラケット用座金は裏表ありますので、取り付ける際はご注意下さい。(フラットの面がブラケット側【裏面】です。)

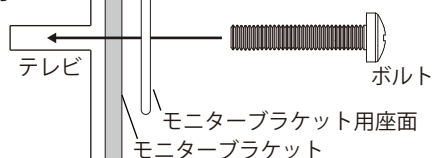
M4 ボルト取り付けの場合 **M6 ボルト取り付けの場合**
※座金の小さい穴を使用します。 ※座金の大きい穴を使用します。



M8 ボルト取り付けの場合
※座金の大きい穴を使用します。



取付け順序



ご注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。無理に取り付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面に段差がある場合

【テレビの背面が段差がある場合や配線が干渉する場合】

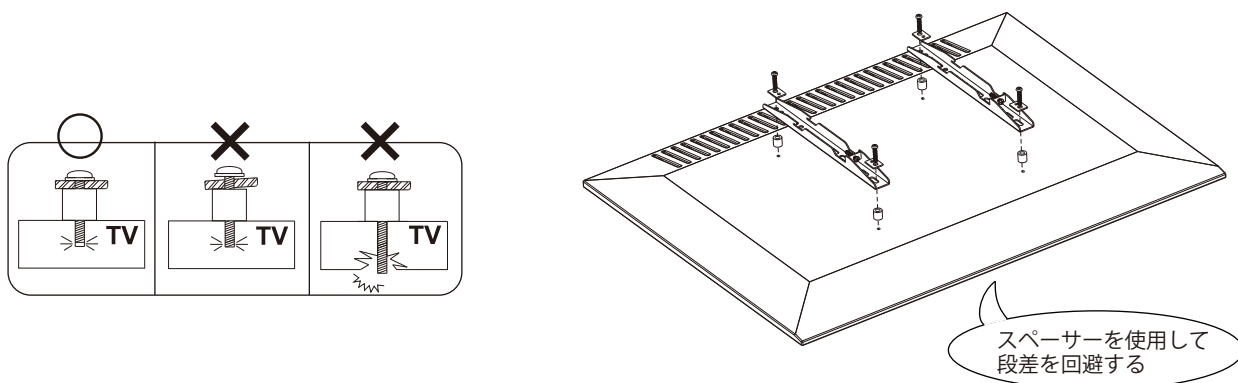
テレビに段差がある場合や、テレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、スペーサーを使用して取り付けます。

下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取付けネジ穴に、モニターブラケット（b）をスペーサー（M-G,M-H）、ボルト（M-C,M-D,M-E）を使って取り付けます。

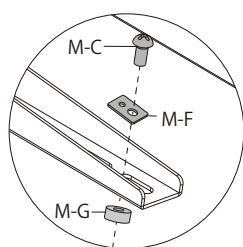
この時スペーサー、ボルトはテレビの金具を取付けるネジ穴の大きさに合ったものを取り付けてください。

テレビ側ブラケットは安全止めネジを付ける側が下になります。

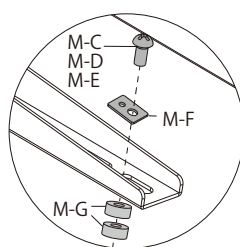
また、2つのテレビ側ブラケットが平行になる様に取り付けてください。左右とも取り付ける穴の位置は同じにしてください。モニターブラケット用座金は裏表ありますので、取り付ける際はご注意ください。（フラットの面がブラケット側【裏面】です。）



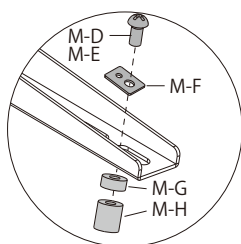
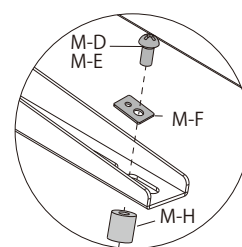
スペーサー 5mm(M-G) を使用する場合
※座金の大きい穴を使用します。



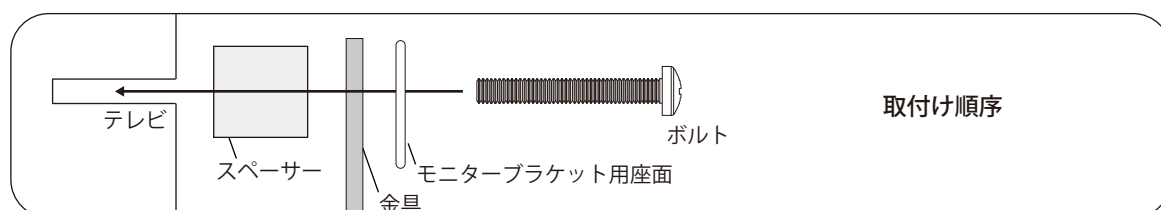
スペーサー 5mm(M-G) を 2 個使用する場合
※座金の大きい穴を使用します。



スペーサー 20mm(M-H) を使用する場合
※座金の大きい穴を使用します。



スペーサー 5mm(M-G)、20mm(M-H) を 1 個ずつ使用する場合
※座金の大きい穴を使用します。



ご注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。

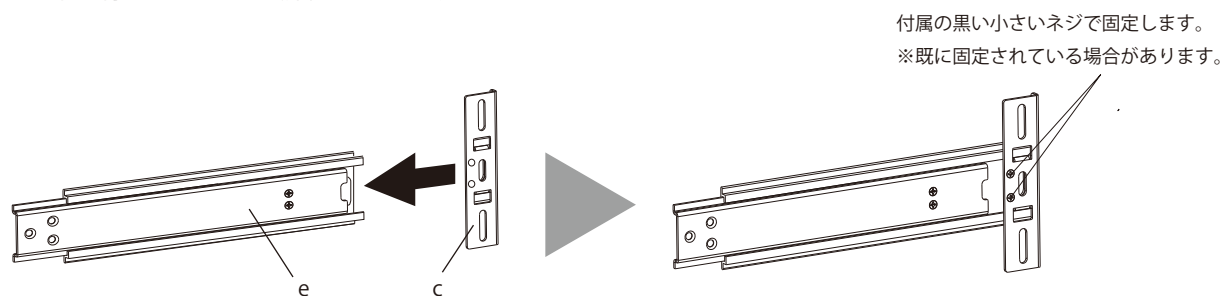
また、スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は無理に取り付けを行わないでください。

無理に取り付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

Step2. スピーカーブラケット取付けアームにスピーカー本体を取り付ける

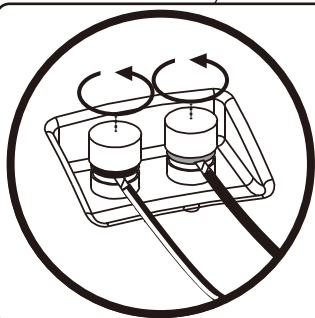
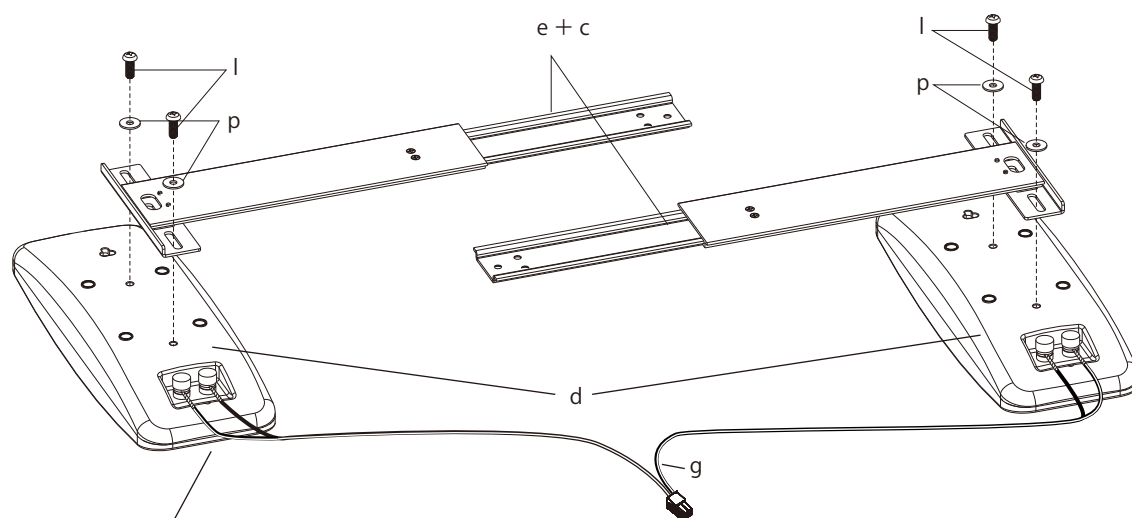
①スピーカーブラケット (c) をスピーカーブラケット取付けアーム (d) にスライドして取り付けます。

※既に取り付けられている場合があります。



②左右両方取り付けたら、スピーカー本体 (d) に取付け、スピーカーケーブル (g) を差し込みます。

※スピーカーブラケット取付けアームがスライドし易いのでスライド部分を抑えて作業して下さい。

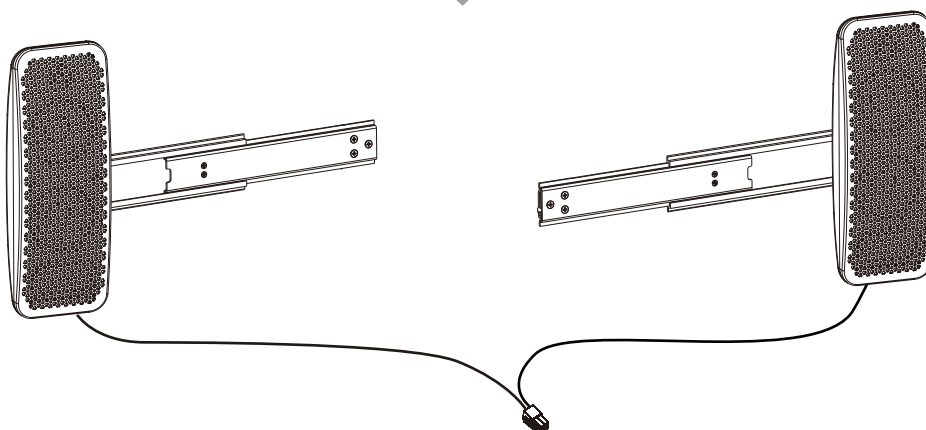


・スピーカー裏のスピーカーケーブル差し込み口を、反時計回りに回してスピーカーケーブルを差し込みます。

差し込んだら時計回りに締めてください。※差し込む際、ケーブルの色に注意して下さい。

●差し込み口 (赤) ⇄ 黒のケーブル

●差し込み口 (黒) ⇄ 黒と白のケーブル



Step3. 壁側プレートの取り付け ～事前確認・準備

⚠️ 必ずお読みください！

ご自身での設置作業は自己責任での設置となります。壁面への取り付け不備による事故や損害に関しては一切の保証がございませんので、取り付けを行う際は十分に確認し、安全性を考慮したうえで作業を行ってください。少しでも不安が残る場合は無理に作業を行わず、内装業者・電設業者などに設置依頼の相談をしてください。

※取り付けを行う前にご確認ください。

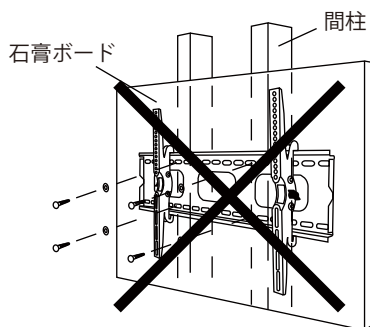
ご自身でお取り付けになる際は必ず自己責任のもと、安全確認等に細心の注意を払い、無理のない作業を行ってください。テレビや金具の重量によってはもちろんの事、基本的には安全を考慮し2人以上で作業を行ってください。

取り付ける壁面によって壁側の耐荷重が異なります。金具を設置する壁面は液晶テレビと金具などの総荷重に長期間十分に耐え、地震や想定される外力に十分耐える場所に取り付けてください。

※図の金具は参考例です。本商品の金具ではありません。

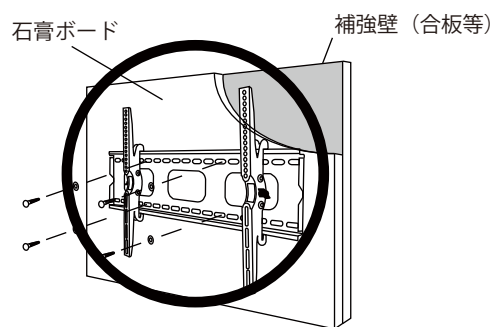
【石膏ボードの裏側に柱や間柱がある場合】

この商品は壁側プレートの横幅の関係上、間柱へのお取付けは出来ません。



【石膏ボードの裏側（表側）に補強が入っている場合】

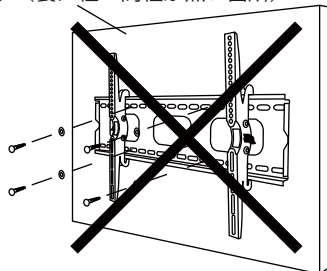
新築時やテレビの壁掛け用に別途合板等で補強を入れている場合、その部分に取り付けが可能です。補強用の合板等は12mm以上の厚みの場合に限りです。



【石膏ボードのみの場所に取り付けを行う場合】

石膏ボードのみの場所への取り付けは出来ません。石膏ボード自体の強度が弱く、取付けを行った場合に壁ごと破損、落下する恐れがあります。

石膏ボード（裏に柱・間柱が無い箇所）



【壁がコンクリートやレンガの場合・

鉄筋の柱へ取り付けを行う場合】

コンクリートへの設置や鉄筋への取り付けは、DIYが得意な方でも大変困難な作業となります。コンクリートやレンガの壁への取り付け工事・鉄筋への取り付け工事はお近くの専門業者へご相談ください。※本商品付属のコンクリートアンカーは一般的なものを採用しておりますので、設置が困難な場合は専門業者にご相談の上、適切なボルトでお取付けをお願いいたします。

【テレビボードへ取り付けを行う場合】

家具屋などで販売しているテレビボードへの取り付けは弊社ではテレビボードの情報を持ち合わせていない為、テレビボードの販売店に板厚やテレビの壁掛けに対応しているか等の情報を得て、自己責任でのお取り付けとなります。その場合、別途適切な壁側のビス等をご用意ください。

【砂壁・土壁の場合】

砂壁や土壁の場合は、石膏ボード同様強度が弱くお取り付けができません。内装業者・電設業者などに依頼し、別途壁に補強工事を行う必要がございます。そのまま取り付けを行った場合は壁ごと破損、落下する恐れがある為絶対にお止めください。

Step3. 壁側プレートの取り付け ～補強壁に取り付ける場合

⚠ Step1 の作業を先に行ってください！

Step1 のモニターブラケットの取り付け作業を先に行ってください。万が一モニターブラケットが取付けできなかった場合、取り付け可能なテレビに交換するなどをしてしないと取り付け設置が出来なくなります。

また、先に壁側プレートを取り付けてしまった場合にテレビ側が合わなかったと発覚した場合でも一切の返品保証および壁側の工事保証等はお受けできません。

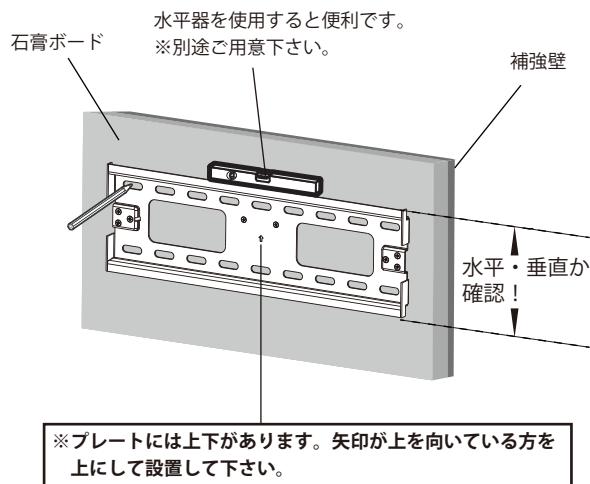
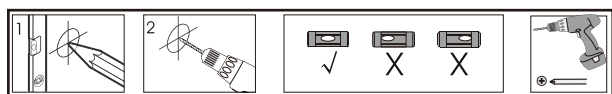
【穴を開ける位置を確認し、下穴を開ける】

壁側プレート (a) を壁に合わせ、どこに取り付けるかや、どのネジ穴を使用するかを決めてください。

取り付け時に使用する穴 4～6 点 (上下各 2～3 点) と、取り付けの高さの印を付けます。

この時使用する穴は必補強壁の部分になるようにしてください。

その際に、印がしっかりと水平・垂直についているかどうかを、水平器を使用して確認してください。

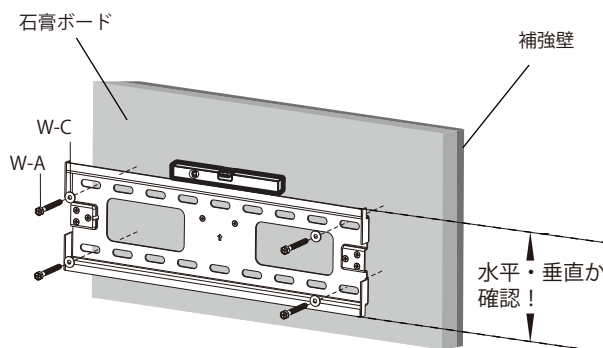
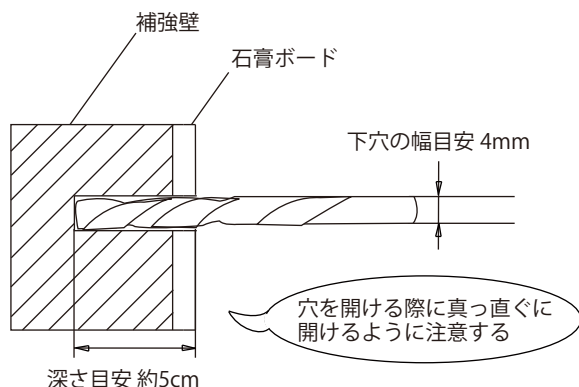


【補強壁に取り付ける場合の下穴と取り付けネジの寸法】

印の箇所にドリルを使用して下穴を開けます。ズレないように十分に気を付けて作業を行ってください。

電動ドリルがあるとスムーズに作業が進みます。

全ての穴を開けたら、壁側プレート (a) を取り付けます。ラグボルト (W-A) とワッシャー (W-C) を使用して、下の図を参考に壁側プレートを壁の裏側の間柱にしっかりと取り付けてください。



※下穴の幅及び深さの目安は付属のラグボルトを使用した場合の数値です。

別途ビス類をご用意された場合は用意したビス類に応じて適切な大きさの下穴を開けてください。

コンクリートアンカー (W-C) は使用しません。



下穴を開ける際や壁側プレート (a) を取り付けの際に違和感を感じた場合 (穴が突き抜けてしまった・しっかりとネジで固定された感触がないなど) は、ただちに取り付け工事を中止し、お近くの専門業者にご相談ください。

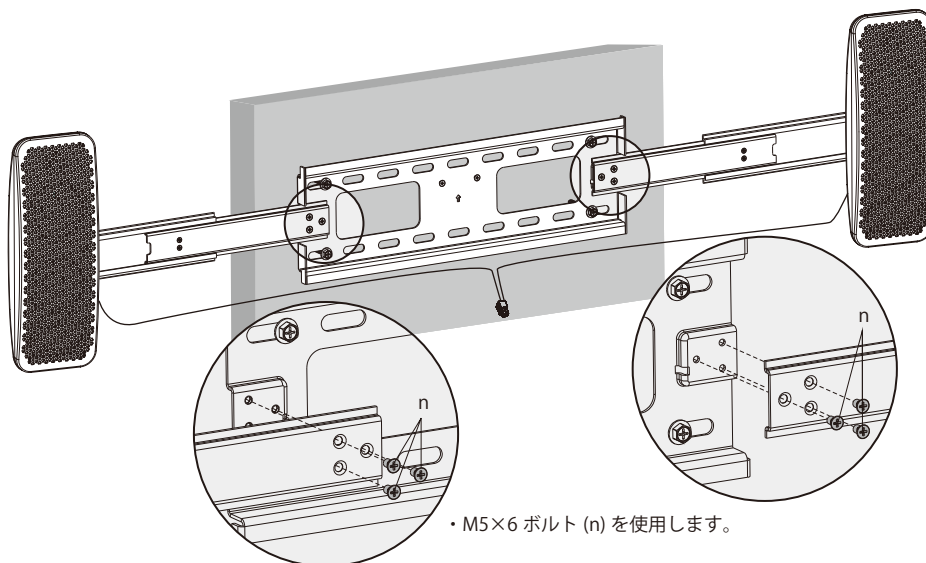
Step3. コンクリート壁に取付ける場合

コンクリートに下穴を開けコンクリートアンカーを打ち込む必要がありますので、専門業者へご依頼下さい。

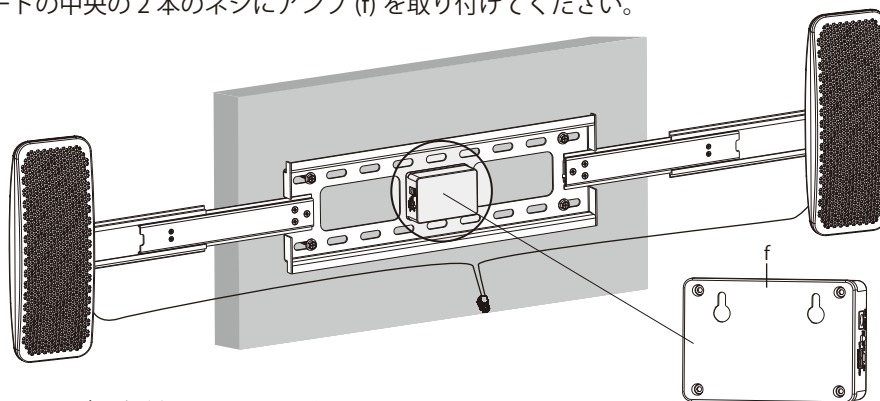
Step4. 壁側プレートにスピーカーブラケット取付けアームとアンプを取り付ける

⚠ ケーブル各種の垂れ下がりに注意して作業して下さい。
垂れ下がったまま作業を続けると部品が破損する恐れがあります。

①壁側プレートの左右に Step2 で製作したスピーカーブラケット取付けアームを取り付けます。

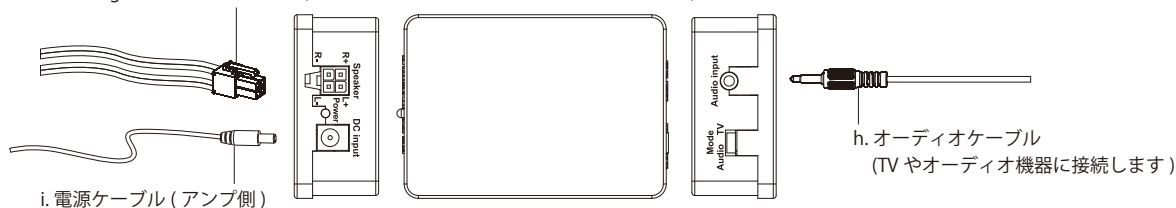


②壁側プレートの中央の 2 本のネジにアンプ (f) を取り付けてください。

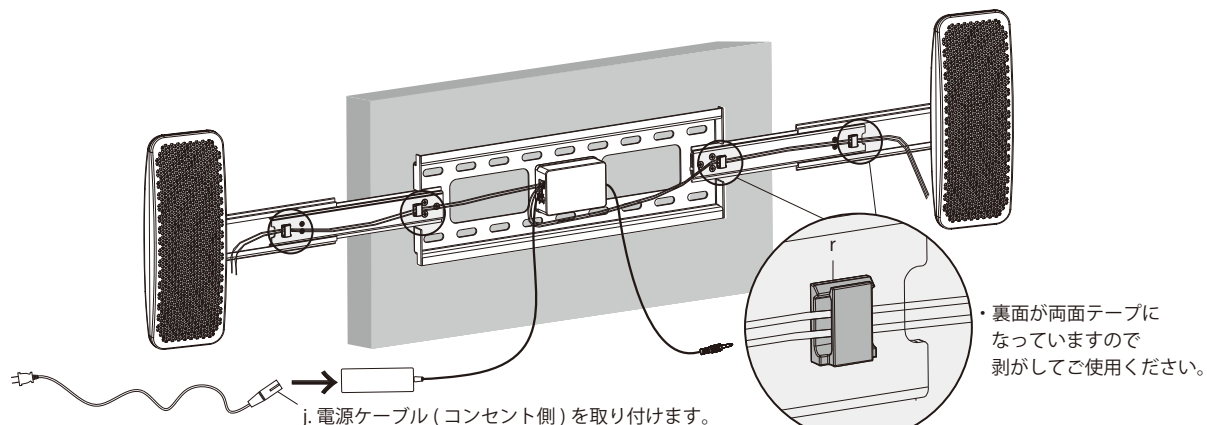


③アンプ (f) にケーブル各種 (g,i,h) を取り付ける。

g. スピーカーケーブル (接続口に左右がありますので注意して下さい)



④スピーカーケーブルにケーブル通し (r) を必要な分だけ張り付け、スピーカーケーブル (g) を収納します。



Step5. 壁側プレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する



- ・この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取り付け作業を行ってください。
- ・無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

【壁側プレートにモニターブラケットを引っ掛けて固定する】

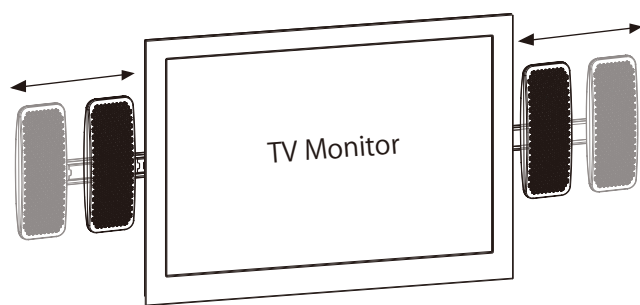
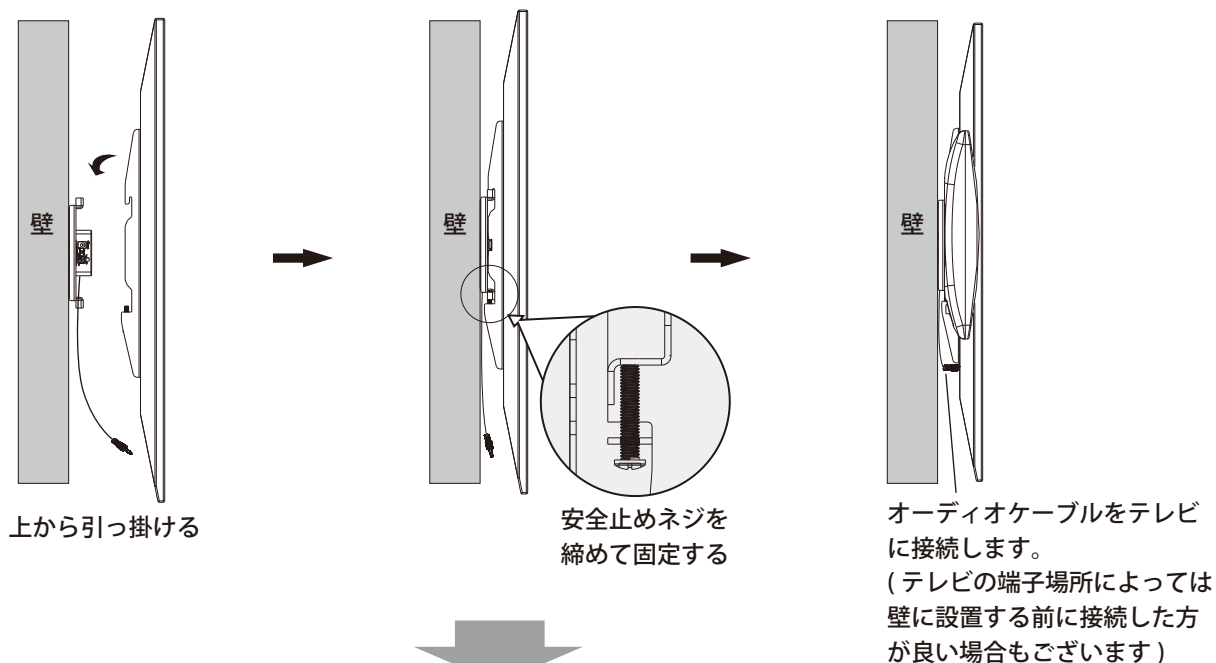
テレビの壁掛けが完了すると、テレビの背面と壁の隙間が約4cm程度になります。テレビ背面に電源コードなどを取り付けて使用する場合は、Step.4の作業を行う前にテレビに電源コード類を取り付けておいた方が最後にコード類を取り付けるよりも作業が楽になることがあります。

下の図を参考にして、モニターブラケット (b) の引っ掛ける部分を、壁側プレート (a) の上部のくぼみへ上から引っ掛けます。

上部がしっかりと引っ掛かっているのを確認できたら、続いて安全止めネジを締めてモニターブラケットが動かない様にしっかりと固定します。その際、安全止めネジが深く入っていると壁側プレートに当たってしまい、プレートの下に入りませんのでご注意ください。

下からネジを回す為、取付けの際は長めのプラスドライバーがあると作業しやすくなります。

[側面図]



- ・スピーカーブラケット取付けアームの長さを調節し、テレビとの距離を測って完成です。
左右アーム幅 (840mm ~ 1080mm まで)

■スピーカー仕様

3-Way・フルレンジスピーカー / 壁掛け用	
●周波数レンジ	… 70Hz-20KHz
●RMS	… 20w
●インピーダンス	… 4Ω
●感度 (1w/1m)	… 88dB
●サブウーハー	… 3-way 78mm ペーパーコーン
●ミッドバス	… 3-way 78mm ペーパーコーン
●ツイーター	… 1.2-way 30mm ペットドーム
●全体寸法	… 300mm×105mm×50mm
●質量	… 0.68kg

Step6. 最終確認

各取り付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタや、違和感があつた際には取り付けを中止してください。

この確認作業は定期的に (3ヶ月~半年に1回程度) 実施し、問題なく使用できていることを確認してください。

経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。